

【別紙2】総合防災情報システム機能評価項目一覧表

○：対応可能 ×：対応不可

項目	内容	対応可否
基本仕様	<p>本システムは専用端末及び特別なソフトウェアを必要とせずMicrosoft Edge、Google Chrome、Firefox等の一般的なブラウザの最新バージョンで操作できる。</p> <p>本システムの動作環境は、災害発生時に利用する災害モードのほか、平時において各種情報の管理・編集ができるモードを搭載する。また、平時の災害対応訓練に対応した訓練モードを搭載する。</p> <p>訓練モードにおいては過去の災害履歴や気象情報等のデータを訓練シナリオとして登録でき、訓練者に対してシステムから自動で状況付与を行うことができる。</p> <p>災害対策本部の各班や部局ごとにユーザ認証し、アカウントごとに編集・閲覧制限を設定できる。</p> <p>スマートフォン及びタブレット端末から、写真やGPS位置情報を登録できる。また、スマートフォン及びタブレット端末用に最適化した画面で表示できる。</p> <p>災害名称は自由に設定することができる。また後から変更することができる。</p> <p>本システム構築時においては、デモサイト等のレビュー環境を活用し、常に本市でも構築の進捗状況が確認できる。</p>	
メニュー構成	<p>各機能のトップ画面においては、各メニューを効率的に配置するとともに、現時点での各情報の一覧（配備体制、被害状況、避難所情報など）を色と数値で視覚的に確認できるよう表示できる。</p> <p>被害規模や時間推移が俯瞰的に把握できるようグラフ表示等ができる。各機能の画面で登録した内容を基にして状況を俯瞰的、機能横断的に時系列で把握するためのクロノロジー表示画面を用意できる。</p> <p>メニューに対してあらかじめ属性検索条件や空間検索条件を複数付与できる。</p>	
災害対応の履歴管理	<p>災害前から復興期にかけての対応履歴管理がシームレスに行える。</p> <p>時刻を指定することにより、その時点での災害の状況を視覚的に（一覧表及び地図上にて）確認できる。</p> <p>指定した時刻に遡って当時の状況を画面表示できるだけでなく、印刷やCSV出力が可能である。</p> <p>災害の履歴は制限を設けることなく管理できる。</p> <p>ユーザ単位で自由に過去の災害情報の参照ができる。</p>	
地図機能	<p>背景地図は住宅地図や公開されている地図等を用意し、各種背景地図を瞬時に切り替えることができる。</p> <p>ハザードマップ(津波、土砂災害、洪水等)を重ねて表示できる。</p> <p>地図上に、アイコンや点、線、面、円などの図形を作成し、登録した災害情報とリンクできる。</p> <p>アイコン等の図形は、地図上でマウスを用いて位置を修正できる。</p> <p>災害情報として登録した写真や画像を表示できる。</p> <p>地図上の情報は定期的に自動更新される。</p> <p>選択した地点の座標（緯度・経度（世界測地系）及びUTM）を表示できる。</p> <p>地図上から距離や面積を計測できる。</p>	
災害情報登録	<p>災害情報や通報受付情報などを登録し、一覧表示できる。</p> <p>登録した情報をアイコン等により地図上に表示し、その内容を確認できる。また、登録した情報の対応状況に応じて、アイコン等の色が帰ることができる。</p> <p>災害情報の登録時など、住所から位置を検索し地図の中心に表示することができる。また、検索した位置をクリックすることで、住所などの情報を自動的に登録することができる。</p> <p>各ユーザ（庁内の各部局又は災害対策本部の各班）に対して対応指示ができ、指示を受けた各ユーザから対応状況等をフィードバックできる。また、指示を受けたユーザ側には、ポップアップ画面やアラート音等により、指示があったことを通知する仕組みを備えている。</p> <p>登録された情報から、本市の様式に合わせて現場地図や住所などが記載された指示書を、自動的に作成、印刷できる。</p> <p>災害情報や通報受付情報をクロノロジーとして管理できる。</p> <p>平常時の道路管理や消火栓の状況などの情報も登録・管理が可能である。</p> <p>登録した情報をCSV等の汎用形式でエクスポートできる。</p> <p>事案ごとに県への報告や外部へ発表する対象とするか任意に設定ができる。</p> <p>情報を登録する際は、検索時の住所や時刻、各種初期値などが自動で入力され、データを登録する職員の負担を軽減できる。</p>	

職員参集・参集状況管理機能	<p>職員800名への参集情報の配信機能及び職員からのフィードバック機能を有している。</p> <p>職員への参集・安否状況を登録・確認・集計できる。</p> <p>職員への配信は手動の他、気象情報等に応じて自動配信も可能とする。</p>	
発令判断支援	<p>関係機関や外部サイト等と連携し、リアルタイムでの気象状況（気象警報等、雨量、河川水位、土砂災害警戒メッシュ、土砂災害危険度分布）を重ねて表示できる。</p> <p>取得した監視・観測データの値が、設定した閾値を超えた場合はアラート音やポップアップにて表示できる。</p> <p>発令されている注意報、警報や配備態勢を画面を切り替えることなく常時確認可能である。</p> <p>閾値に応じて避難情報発令推奨エリアが自動で選択され、発令推奨理由も表示されるようにする。</p> <p>避難情報発令から一連の流れで避難所開設、情報配信が可能である。</p> <p>避難発令などの情報配信用に定型文（テンプレート）を無制限に作成可能である。</p>	
配信機能	<p>本システムから各種媒体への一括配信が短時間で効率的に行える。</p> <p>配信機能により登録した任意のメールアドレスに配信可能である。</p> <p>配信機能によりFAX送信が可能である。</p> <p>各種SNS（近江八幡市公式LINE、Facebook、Twitter）に対して情報配信が可能である。</p> <p>配信機能によりYahoo防災速報に配信可能であること。</p> <p>配信機能により4キャリア（docomo,au,softbank,楽天モバイル）へ緊急速報メールが送付可能である。</p> <p>本市が提供している近江八幡Town-Mailに対して、将来的に近江八幡Town-Mail側でSMTP連携が可能となった際には情報配信が可能である。</p> <p>本市が整備している280MHz防災行政無線に対して情報配信が可能である。</p> <p>HP連携機能を有する。</p> <p>国民保護情報、緊急地震速報について総合防災情報システムから各種SNS、FAX送信及び近江八幡Town-Mailに配信可能である。</p> <p>※近江八幡Town-Mailに関しては将来的にSMTP連携が可能となった場合</p> <p>送信文は定型文を引用し、入力負担を軽減できること。定型文については無制限に作成可能である。</p>	
避難所及び避難情報管理	<p>避難所の開設または閉鎖の状況、避難情報の発令情報が地図で俯瞰できる。</p> <p>避難所の開設または閉鎖は個別に実施できるだけでなく、発令パターンなどから複数の避難所を一括して選択、指示が行える。</p> <p>避難所の開設状況や避難者数（男女別、世帯数等）を登録・確認できる。</p> <p>各避難所の状況及び避難情報の発令状況はCSV等の汎用形式でエクスポートできる。</p> <p>避難者数等を定期的に自動集計し、トップ画面に表示する。</p> <p>各避難所と災害対策本部の間で速やかに情報の共有を行うため、避難所ごとにチャット形式等でやり取りが行えるような掲示板等を実装している。</p> <p>発令地域が一覧表示され、その状況が確認できる。</p> <p>発令する地域を地図又は一覧から選択して登録できる。また、複数地域の一括登録にも対応している。</p> <p>事前に住民自治協議会単位の人口・世帯数をCSV形式のファイル等により登録し、発令した地域の人口・世帯数を自動集計できる。</p>	
報告機能	<p>集計した被害情報から4号様式を自動的に集計でき、内容を保存できる。</p> <p>指定した時刻でも確認ができる。</p> <p>保存した4号様式をエクセルでダウンロードできる。</p> <p>登録した情報を自動集計し、災害対策本部会議用の資料や報道提供資料等を自動で作成できる。</p>	